

令和7年度事業報告書

1.法人の概要

名称 学校法人 向陽学園
住所 長崎県大村市西三城町16番地
電話 0957-52-3210
FAX 0957-54-3280
ホームページ <http://www.koyogakuen.ed.jp>

(1) 建学の精神

向陽学園の建学の精神は、「奉仕」です。これは、社会において自己が支えられていることを深く認識し、支えられている自分が他を支えることであり、そのために自己を支える力を大きくし、より良く生きるという「活私」を意味します。

向陽学園は、大正13年より、その教育において一貫してこの「奉仕」の精神を貫き、その言葉に魂を宿してきております。さまざまな外的環境が大きく変化をとげてゆく状況の中であって、向陽学園は、その使命と責任を果たすように、建学の精神に立脚した教育活動と経営をこれからも進めてまいります。

(2) 学校の沿革

大正13年1月	私立大村裁縫女学校 として設立
大正14年5月	大村女子職業学校 として改称
大正15年9月	高等師範科 設置
昭和2年4月	実業補習学校教員養成科 併設置
昭和12年1月	実業補習学科教員養成科を法令の改正により青年学校教員養成科と改称
昭和18年4月	法令改正により実業学校となり、師範科を専攻科と改称し、青年学校教員養成科及び高等師範科を廃止
昭和21年10月	財団法人 大村女子職業学校を設立
昭和22年4月	学制改革による新制中学部である中学部を認可される
昭和23年4月	新制高等学校の設置を認可され、大村女子職業高等学校（家庭課程・被服課程）と改称す
昭和23年10月	大村女子職業学校中学部を向陽中学校に、大村女子職業高等学校を向陽高等学校にそれぞれ名称変更し認可される
昭和25年3月	高等学校に専攻科及び商業別科の附設と向陽幼稚園の設立を認可される
昭和26年3月	法令により設置者を学校法人向陽学園と変更認可される

昭和33年3月	向陽中学校を廃止
昭和35年9月	高等学校の家庭課程・被服課程を被服科と改称する
昭和37年4月	高等学校の商業別科を廃止し、新たに商業科3年コースを設置
昭和42年4月	高等学校に衛生看護科を設置（准看護婦学校の指定を受ける）
昭和44年4月	高等学校に保育科を設置
昭和45年3月	衛生看護専攻科、保育科校舎を新築落成
昭和52年4月	高等学校に普通科を設置
昭和54年4月	高等学校に衛生看護専攻科を設置
昭和56年4月	九州で2番目となる専修学校 長崎リハビリテーション学院を 設立 理学療法学科を設置
昭和57年9月	幼稚園新校舎落成
昭和62年1月	高等学校校舎増築
昭和63年4月	高等学校にコンピュータ・ビジネス科を設置
平成2年4月	高等学校に国際科を設置
平成3年4月	長崎リハビリテーション学院に九州初となる言語療法学科を設置
平成4年4月	高等学校の被服科を服飾デザイン科と改称 普通科（特進課程） 設置
平成4年9月	高等学校に普通科（特進課程、通称：橘香館）の新校舎を落成
平成5年4月	高等学校国際科が男女共学となる
平成6年12月	高等学校4校舎改築落成
平成9年4月	高等学校普通科（特進課程）が男女共学となる
平成13年4月	高等学校国際科の男子募集を停止
平成14年4月	高等学校保育科に保育コースと福祉コースの設置
平成15年4月	高等学校に調理科（男女共学）、デザイン科（美容コース、ファッ ション・デザインコース）を設置 普通科に（e・cコース）を設 置 普通科（特進課程）を（特進コース）に改編 服飾デザイン科 はデザイン科ファッション・デザインコースに改編 国際科、商業 科、コンピュータ・ビジネス科の募集停止 また二学期制とする
平成16年4月	高等学校デザイン科にエステコースを設置 長崎リハビリテーシ ョン学院に県内初の理学療法学科2部（夜間部）を設置
平成16年8月	衛生看護専攻科 新校舎落成とともに移転 向陽学園本部 衛生 看護専攻科新校舎の5階に移転
平成17年4月	高等学校普通科（e・cコース）を普通科（情報&メディアデザイ ンコース）に改編 デザイン科エステコースはデザイン科エステ ティックコースに改編 デザイン科ファッションコースの募集停 止 コシノヒロコのデザインによる新制服着用開始

平成18年4月	長崎リハビリテーション学院 作業療法学科の新設に伴い新校舎が落成 高等学校に普通科（特進コース・橘香館）の新校舎が落成
平成20年4月	高等学校普通科情報&メディアデザインコースの募集を停止し、普通科パティシエコースを設置
平成20年11月	向陽学園が運営する（C.L.フォンス）が完成 図書館とカフェテリアが併設 向陽学園の学生や卒業生たちが学習、交流、憩いの為に利用する施設
平成21年4月	美容専門学校トータルビューティーカレッジ「ベルファム」（昼間課程・通信課程）の新設に伴い 新校舎が落成 衛生看護専攻科を看護専攻科と改称し、5年一貫教育とする
平成22年4月	高等学校デザイン科美容コースは美容科（男女共学）、デザイン科エステティックコースはエステティック科、保育科保育コースは保育科、保育科福祉コースは福祉科（男女共学）、普通科パティシエコースはパティシエ科（男女共学）と改編 普通科（特進コース・橘香館）の募集を停止
平成23年4月	幼稚園保育室増設 園庭に人工芝を設置
平成23年8月	向陽学園が学校法人として設立60周年を迎える（向陽学園創立87周年） 記念イベント「ベルファム トータルビューティコレクション」や記念パーティー「感謝の夕べ」を実施
平成25年3月	高等学校の普通科、デザイン科を廃止
平成26年9月	美容専門学校ベルファム校舎を旧橘香館校舎に移転し、長崎リハビリテーション学院の言語療法学科を旧ベルファム校舎に移転
平成29年4月	高等学校エステティック科にエステティックコース・ブライダルコースを設置
平成30年4月	高等学校の保育科・看護科 男女共学となる（エステティック科のみ女子）
令和 2年3月	美容専門学校トータルビューティーカレッジ「ベルファム」が閉校
令和 4年6月	令和5年度より長崎リハビリテーション学院の理学療法学科二部の募集停止を決定
令和 5年3月	令和6年度より向陽高等学校の普通科設置、保育科・福祉科の募集停止を決定
令和 5年9月	普通科設置、保育科・福祉科の収容定員変更（募集停止）の認可となる。
令和 6年1月	向陽学園が創立100周年を迎える。

令和 6 年 4 月 創立 100 周年記念式典および記念講演会を実施
高等学校に普通科（PCD）を設置

令和 7 年 8 月 高等学校第 2 体育館落成

令和 8 年 3 月 高等学校の保育科・福祉科を廃止

令和 8 年 4 月 幼稚園が認定こども園への移行に伴い、「向陽幼稚園」の名称を
「認定こども園 向陽幼稚園」に改称

(3) 組織概要

学校法人向陽学園	長崎県大村市西三城町 1 6 番地
向陽高等学校	長崎県大村市西三城町 1 6 番地
認定こども園 向陽幼稚園	長崎県大村市西三城町 1 6 番地
長崎リハビリテーション学院	長崎県大村市赤佐古町 4 2 番地

(4) 設置する学校の概要

向陽高等学校

学科名	学年数	入学定員	総定員	生徒数	備考
美容	3	40	120	114	
エステティック	3	40	120	92	
調理	3	40	120	121	
パティシエ	3	40	120	81	
看護	3	40	120	90	
普通	3	40	120	45	
総計		240	720	543	

	学年数	入学定員	総定員	生徒数	備考
看護専攻科	2	40	80	71	

認定こども園 向陽幼稚園

年	クラス	定員数	総定員	生徒数	備考
5 歳児	3	28	78	75	
4 歳児	2	30	60	54	
3 歳児	2	30	60	55	
満 3 歳児	1	24	24	2	※随時入園／16 名予定
2 歳児	1	12	12	13	
1 歳児	1	6	6	6	※2 歳児と同じ教室
総計	1 0	—	240	205	

長崎リハビリテーション学院

学科名	学年数	入学定員	総定員	生徒数	備考
理学療法学科	3	40	120	78	
言語療法学科	3	40	120	68	
作業療法学科	3	40	120	49	
総計		120	360	195	

(5) 役員・評議員の概要

理事	5 名
監事	2 名
評議員	6 名

(6) 教職員の概要

向陽高等学校

教員	本務者	51 名
	兼務者	49 名
職員	本務者	17 名

看護専攻科

教員	本務者	9 名
	兼務者	15 名
職員	本務者	1 名

向陽幼稚園

教員	本務者	19 名
	兼務者	3 名
職員	本務者	5 名

長崎リハビリテーション学院

教員	本務者	19 名
	兼務者	28 名
職員	本務者	6 名

本部

職員	本務者	14 名
----	-----	------

2. 事業の概要

(1) 向陽高等学校

月	主な行事
令和7年4月	春季休業、入学式、始業式、体育祭
令和7年5月	育友会総会、高総体壮行会
令和7年6月	高総体実施、戴帽式
令和7年7月	オープンスクール、スイツチャンピオン大会、ワインディング 700 本巻大会
令和7年8月	オープンスクール、夏季休業、第2体育館落成
令和7年9月	クラスマッチ、遠足、入試説明会
令和7年10月	後期始業式、入試説明会、すし発表会
令和7年11月	向陽祭、たかの友梨先生講演会、食育王大会
令和7年12月	修学旅行、西洋料理発表会、クラスマッチ、冬季休業
令和8年1月	冬季休業、特別入試試験他
令和8年2月	入試二次試験、国家試験他
令和8年3月	卒業式、クラスマッチ、フランスエステ短期講習会、日本料理発表会

令和7年度は、普通科に導入したポジティブ教育を全学科・全学年へ展開し、生徒の幸福度（ウェルビーイング）と自己成長を両立させる専門教育の土台として定着できるよう推進しました。特に、学科間の連携を重視し、普通科と看護専攻科による「食と Well-being に関する合同授業」や、エステティック科と看護科による「ハンドマッサージ演習」、普通科

と保育科による「防災と子どものケアをテーマとした授業」など、科の垣根を越えた合同プログラムを実施しました。

学科の大きなイベントとして、エステティック科においては、特別講師としてエステ界の第一人者であるたかの友梨氏をお招きし、講演・技術指導を行っていただきました。パティシエ科においては、同業界の革新者である鎧塚俊彦氏に審査委員長を依頼し、コンテストを開催しました。

また、エステティック科における「メイクアップ技術検定2級」の全員合格や、パティシエ科による「スイーツ甲子園」タリーズ賞の受賞および共同開発商品の全国での販売など、外部評価に結びつく学習成果を上げました。

学内行事においては、11月に開催された向陽祭が各科の創意工夫に富んだ展示や実演、エステティック科によるブライダルショーや美容科によるヘアショーの実施により盛況を収め、育友会や同窓会との連携を深める契機となりました。

学科改編について、昭和44年の創設以来57年間で2,402名の卒業生を送り出した「保育科」、および平成22年の開設から16年間で410名の人材を輩出した「福祉科」の2科は、令和8年3月をもって最後の卒業生を送り出し、予定通り廃止を完了しました。

今後は、普通科PCDコースの3学年完全完成に伴う教育の充実を図るとともに、既存の5つの専門学科（美容科、エステティック科、調理科、パティシエ科、看護科）においても、専門教育のさらなる高度化と魅力向上を推進していく予定です。

部活動においては、複数の部が九州および全国規模の大会で顕著な成果を収めました。女子ソフトボール部が、県高総体において29年ぶり15回目の優勝を達成し、全国高総体でのベスト16進出や九州国体での優勝という優れた結果を残しました。また、女子バドミントン部も躍進を遂げており、県新人大会の団体戦で初優勝を飾っただけでなく、全九州高校選抜大会の団体戦においても初優勝という快挙を成し遂げ、3月開催の全国高校選抜選手権大会へ出場しました。そのほか、男子バドミントン部が県高総体で団体3位、剣道部女子が同ベスト8に入るなど、各部において安定した実力を示すことができました。

施設面においては、令和7年9月に新第2体育館が完成し、主にバドミントン部・バスケットボール部が練習するほか、学内のクラスマッチの会場としても使用しています。さらに、新校舎の建設工事については、令和8年7月の完成に向けて着実に進捗しています。完成後は、機能的かつ魅力的な教育環境が実現し、今後の教育活動がより充実する見込みです。

(2) 向陽幼稚園

月	主な行事
令和7年4月	入園式、歓迎遠足
令和7年5月	玉ねぎひき、じゃがいもほり、いちごつみ
令和7年6月	時計店見学、プール開き、老人ホーム訪問、音楽コミュニケーション、ふれあいの日、
令和7年7月	諫早青少年自然の家、プール、音楽コミュニケーション、ふれあいの日
令和7年8月	夏期保育、プール
令和7年9月	給食試食会、子育て講座、音楽コミュニケーション、ふれあいの日
令和7年10月	運動会、ドローン体験、おもいほり、絵画参観、子育て講座、音楽コミュニケーション、ふれあいの日
令和7年11月	フィールド・デイ大村公園、子育て講座、ふれあいの日
令和7年12月	お遊戯会（シーハット）、クリスマス会、長崎空港見学、ふれあいの日
令和8年1月	体育参観、卒園イベント、子育て講座、音楽コミュニケーション、ふれあいの日
令和8年2月	節分、絵画展、英語参観、なわとび大会、子育て講座、音楽コミュニケーション、ふれあいの日
令和8年3月	お別れ遠足、卒園式

令和7年度は、主に令和8年度からの認定こども園移行に向けた準備に取り組み、1・2歳児クラスの開設、自園調理開始、新たな人員体制の構築に向けて、運営面・教育面の両面から体制整備を進めてまいりました。

教育面では、これまで本園が大切にしてきた「知・徳・体」のバランスのとれた育ちを大切にしながら、絵本・音・知育を柱とする教育内容を踏まえ、これまで培ってきた幼稚園教育の特色を、1・2歳児を含めた新たな体制の中でどのようにつなげていくかを整理いたしました。新体制に向けた準備が重なる1年ではありましたが、在園児の各種行事については、滞りなく実施することができました。子どもたちは行事を通して、友達と力を合わせることや、自分なりに表現すること、達成感を味わうことができ、保護者の皆さまと共に、成長を喜び合える機会となりました。

令和8年度は、新たに開設する1・2歳児クラスの保育内容と環境を充実させ、認定こども園としての運営の安定を図るとともに、子育て支援活動や情報発信を通して、本園の教育方針や日々の子どもたちの育ちを分かりやすく伝え、園児募集の強化に繋げてまいります。今後も、建学の精神「奉仕」のもと、幼稚園として培ってきた教育の特色を新たな体制の中でも大切にしながら、認定こども園として、より幅広い年齢の子どもたちとご家庭を支える園づくりに努めてまいります。

(3) 長崎リハビリテーション学院

月	主な行事
令和7年4月	入学式、臨床実習指導者会議オープンキャンパス①②、 新入生歓迎行事
令和7年5月	臨床実習5月～7月、オープンキャンパス③
令和7年6月	球技大会、オープンキャンパス④
令和7年7月	オープンキャンパス⑤⑥、就職説明会、臨床実習7月～9月 別府太陽の家見学(1年生)
令和7年8月	地域交流会、オープンキャンパス⑦
令和7年9月	入試、保育実習(ST1年生)、脊損センター見学(PO2年生)、 オープンキャンパス⑧、県スポーツ大会
令和7年10月	入試、介護実習(ST1年生)・臨床実習、オープンキャンパス⑨
令和7年11月	入試、臨床実習、学院祭・オープンキャンパス⑩⑪、 九州地区スポーツ大会
令和7年12月	入試
令和8年1月	臨床実習、臨床体験実習、オープンキャンパス⑫
令和8年2月	入試、国家試験
令和8年3月	入試、卒業式、ジョブフェスタ(オープンキャンパス⑧)

令和7年度は、病院施設での各種実習、オープンキャンパス、学院祭などの学内行事や長崎県専修学校各種学校スポーツ交流会への参加など積極的に活動いたしました。また、学生部においてはボランティアサークル「くれよん」を立ち上げ、大村市社会福祉協議会からのボランティア依頼やその他各施設等からの依頼に対し、対応してまいりました。

同年度は、学院においても ICT 教育への取り組みとして新入生からタブレット端末を用いた講義のスタイルに変更され、配布資料の電子化や Teams 内での小テスト、アクティブラーニングを積極的に活用した講義内容へと昨年度までの ICT 推進委員会で重ねてきた検討事項を実行に移す年度となりました。

言語療法学科においては養成所指定規則の改定に伴う新カリキュラムが新入生からスタートし、レクリエーション論や手話、管理学など新たな科目の採用により広い視野を持って患者様と接することができるセラピストを養成していく初年度になりました。

令和7年度の3つの重点目標及び結果は下記のとおりです。

①継続的な広報活動の実行

学校広報と募集広報の視点から「長リハ」ブランドの浸透と学生募集の推進を軸に注力しました。入学者は61名と特に理学療法学科と作業療法学科の入学者数が例年よりも少ないことが課題として浮き彫りとなりました。

②充実した学院諸活動の推進

これには学生視点と、教職員視点の両方が含まれ、学生視点としては活発な学生自治活動の継続と推進、ボランティア活動の奨励・推進を図ってきました。教職員視点では業務のスリム化の促進や目標管理制度(自己評価・業績)の実行に取り組みました。ICT 導入による紙媒体の準備が必要なくなった、採点業務がデータ処理化された、など変化が見られています。

③国家試験合格率の向上と安定した就職支援体制

国家試験合格率は→PT94.1%、OT100%、ST88.2%と各学科とも全国平均を上回る結果となりました。就職に関しても資格取得者においては各学科とも 100%となっております。

以上の目標達成のため、具体的な取り組みを作成し実施しました。令和 8 年度も、医療の現場に必要とされるリハビリテーションのプロを目指し、学生に対して入学から卒業認定まで一貫した教育を行います。

令和 8 年度は、「募集減少に歯止めをかける戦略的広報体制の再構築」、「学生の成長実感と教職員の働き甲斐を高める教育体制の充実」、「国家試験合格力の強化と安定した就職支援体制の確立」を重点目標に掲げ、具体的には次のような取り組みをまいります。全国へ学院の魅力を伝える仕組みづくりを推進することにより「長リハ」ブランドの浸透をさらに図り、ガイダンスからオープンキャンパスへの参加、さらに実際の受験・入学へとつながりを持たせる広報活動。学生の満足度を高め、不安の早期発見と体系的支援の強化による中途退学の予防・学習支援体制の高度化。将来の国家試験を見据えた学年間接続の強化、模擬試験結果の分析と到達度別個別指導体制の確立を目指して学内研修会や授業改善効果の見える化等により教員の教授力及び指導力の向上を図ります。

3. 財務の概要

本学園の令和7年度の財務概要については、学校法人会計基準に従い作成いたしました。
事業活動収支計算書及び貸借対照表は下記の通りです。

(1) 事業活動収支計算書

単位 千円

科目	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
教育活動収入計	1,282,751	1,379,085	1,507,363	1,531,106
教育活動支出計	1,505,727	1,583,236	1,604,270	1,566,397
教育活動収支差額	△ 222,976	△ 204,151	△ 96,907	△ 35,291
教育活動外収入計	2,509	3,923	2,692	2,787
教育活動外支出計	15,783	3,781	1,110	1,018
教育活動外収支差額	△ 13,274	142	1,582	1,769
経常収支差額	△ 236,250	△ 204,009	△ 95,325	△ 33,522
特別収入計	35,869	94,947	54,932	7,806
特別支出計	0	3,540	0	0
特別収支差額	35,869	91,407	54,932	7,806
基本金組入前当年度収支	△ 200,381	△ 112,602	△ 40,393	△ 25,716
基本金組入額合計	37,040	△ 9,096	△ 46,309	△ 64,059
当年度収支差額	△ 163,341	△ 121,698	△ 86,702	△ 89,775
翌年度繰越収支差額	△ 2,549,792	△ 2,395,577	△ 2,762,394	△ 2,762,394

(2) 貸借対照表

単位 千円

科目	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
固定資産	2,943,775	2,011,690	1,808,650	1,884,973
流動資産	381,547	510,074	695,138	627,893
資産の部合計	3,325,322	2,521,764	2,503,788	2,512,866
固定負債	198,969	67,870	81,813	106,263
流動負債	1,343,463	470,624	326,103	270,338
負債の部合計	1,542,432	538,494	407,916	376,601
純資産の部合計	1,782,890	1,983,270	2,095,872	2,136,265
負債及び純資産の部合計	3,325,322	2,521,764	2,503,788	2,512,866